LF228 壁掛け金具
取 扱 説 明 書

----- 重量 61kg 以下 の薄型テレビの取り付けに適用 -----

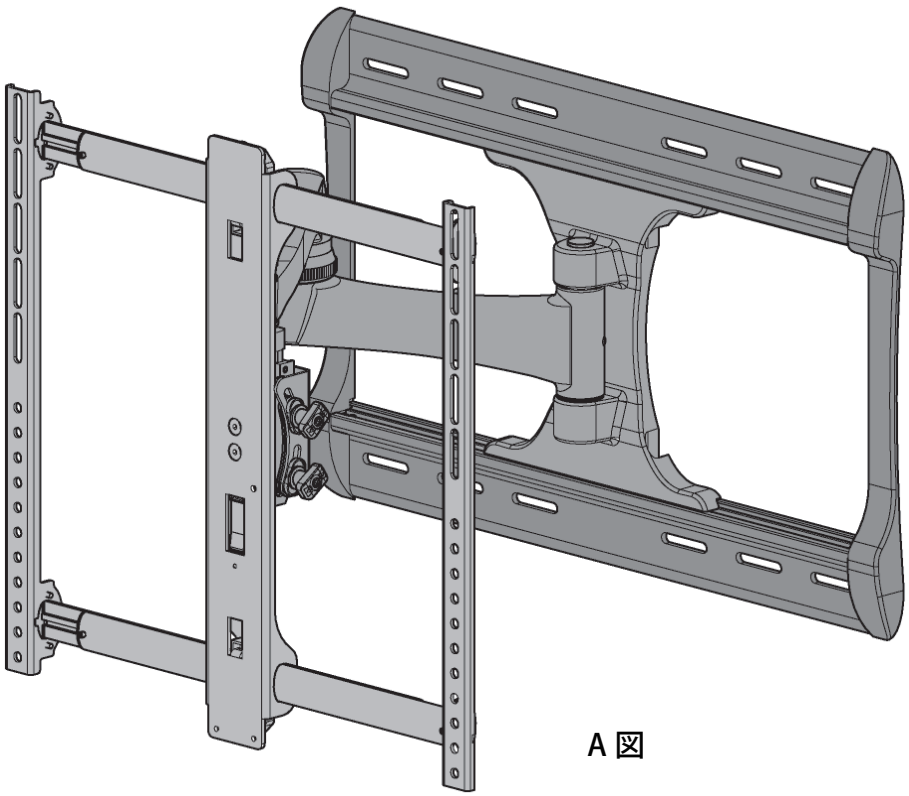
この度は、LF228 の壁掛け金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
LF228 は 37V 型～ 65V 型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。 必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。



A 図

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明してます。

⚠ **警告**	**人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。**
⚠ **注意**	**人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。**

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	**人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。（してはいけない禁止内容）**
⃠	**人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容）**
❗	**人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。（気をつける内容）**

⚠ 警告

⚠ 禁止

壁の強度は少なくとも薄型テレビと LF228 の合計重量の 5 倍の強度に耐える場所が必要です。
LF228 壁掛け金具は、37V 型～ 65 型で、総重量 61kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
又、木製やコンクリート以外の鉄骨製の壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。

⃠

工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠

取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⃠

荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。

⃠

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

⚠ 禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

❗

テレビの取り付けや取り外し作業は２人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

⚠ 禁止

本製品には小さな部品が同梱してあり、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、子供のそばにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですから子供を側に近づけないで下さい。

⃠

取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

❗

組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン株式会社に連絡して下さい。
破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

❗

壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

⃠

ネットワークジャパン株式会社は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して責任を負いません。

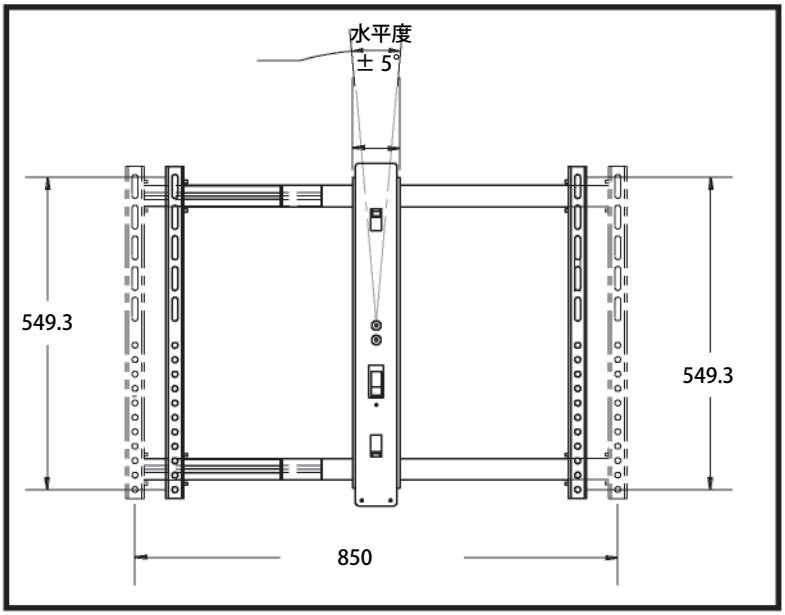
重要　本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。　又この説明書は大切に、保管して下さい。

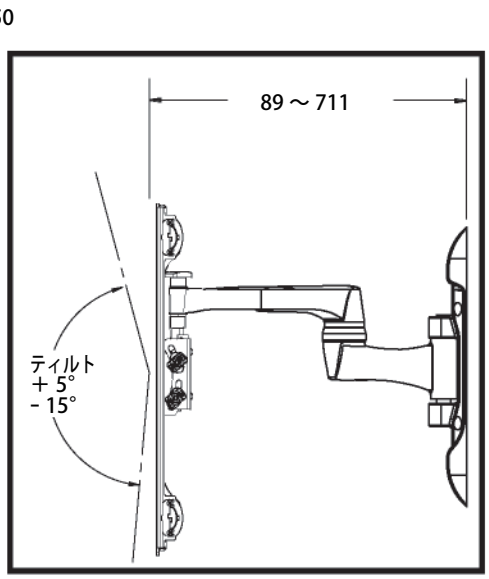
仕様

耐荷重　　：　61kg（テレビと付属品を含みます）　超過しないようにして下さい。
適応テレビサイズ：　37V 型～ 65V 型
ティルト調整　：　＋ 5°　-15°
左右首振り角度　：　± 75°
水平度調整　　：　± 5°

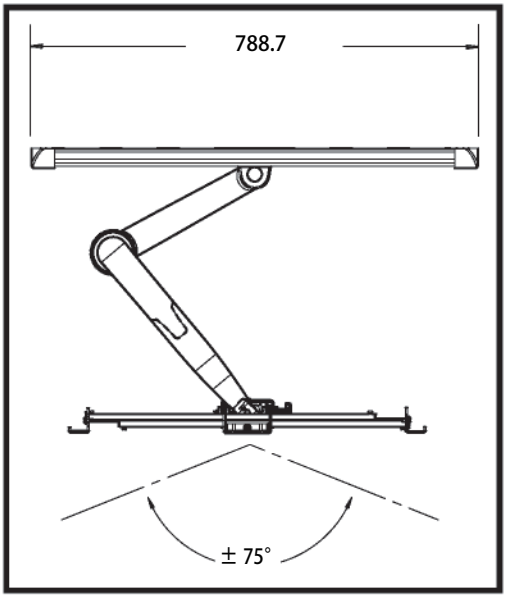
注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
★ メーカーが指定している以外の目的で本製品を使用しないでください。
★ 取り付け先の壁は、テレビと壁面取付金具の総重量の 5 倍をの重量を支える強度がなければなりません。
★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立て、使用について質問がある場合は、ネットワークジャパン株式会社に、又は認定業者にお問い合わせください。

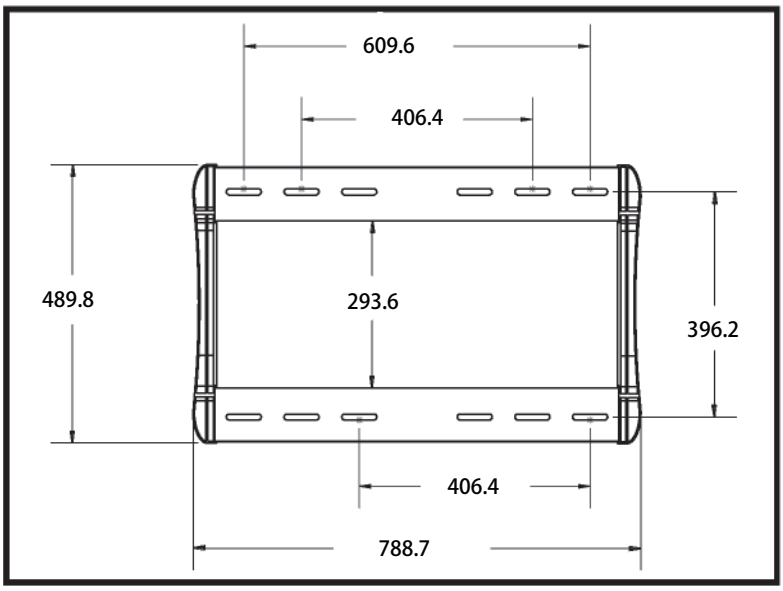
外観図



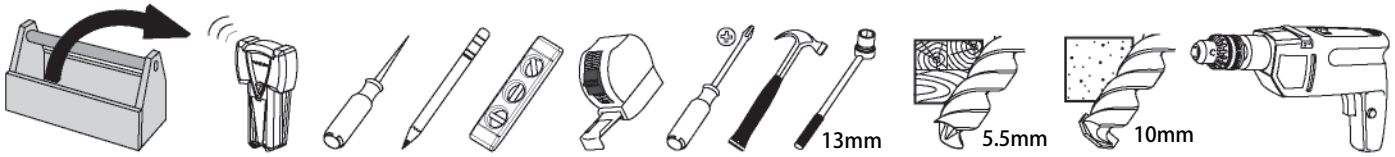


B 図



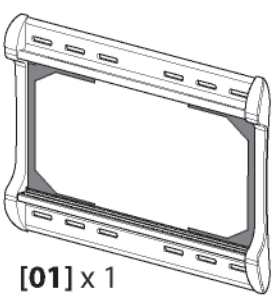


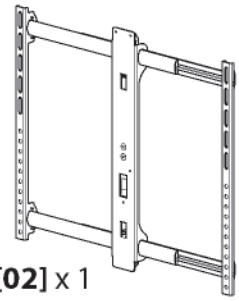
必要な工具類



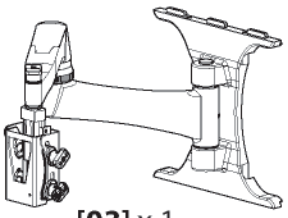
付属の部品類

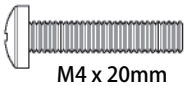
⚠ **警告** : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。
組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。
注記 : M4、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の金具をすべて使用するわけではありません。

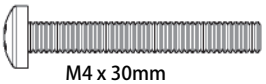

[01] x 1

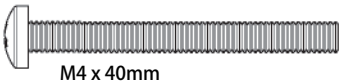

[02] x 1

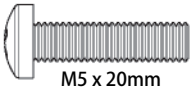
C 図

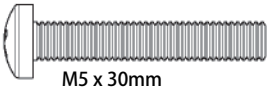

[03] x 1

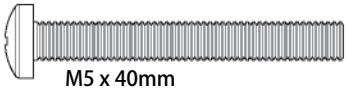

M4 x 20mm
[04] x 4


M4 x 30mm
[05] x 4

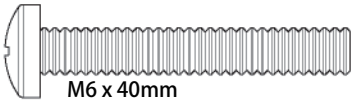

M4 x 40mm
[06] x 4

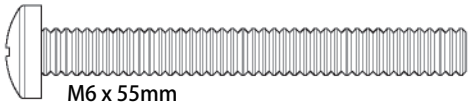

M5 x 20mm
[07] x 4

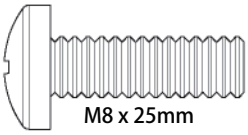

M5 x 30mm
[08] x 4

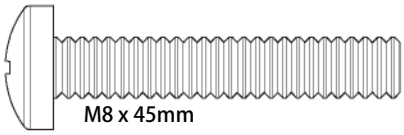

M5 x 40mm
[09] x 4

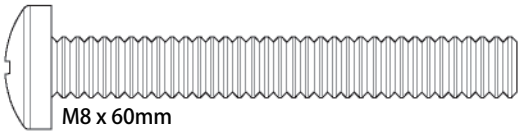
M6 x 25mm
[10] x 4


M6 x 40mm
[11] x 4


M6 x 55mm
[12] x 4

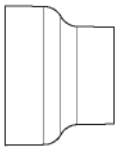

M8 x 25mm
[13] x 4

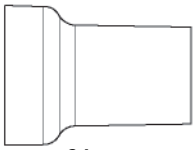

M8 x 45mm
[14] x 4

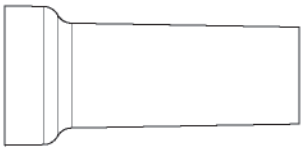

M8 x 60mm
[15] x 4

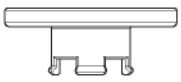
4mm
[16] x 4

7mm
[17] x 4

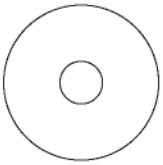

14mm
[18] x 4

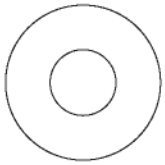

24mm
[19] x 4

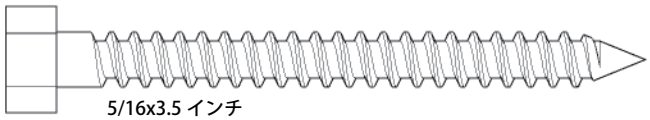

38mm
[20] x 4


[21] x 4

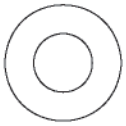
1032x1/4 インチ
[22] x 1

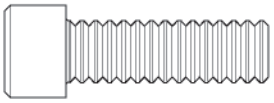

M4/M5
[23] x 4

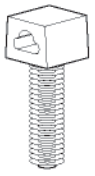

M6/M8
[24] x 4

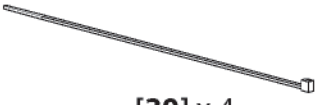

5/16x3.5 インチ
[25] x 5

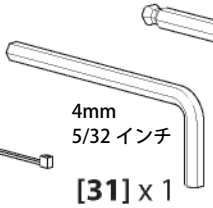
[26] x 5

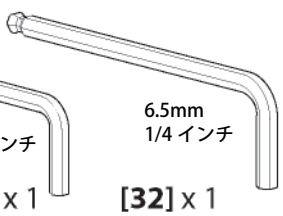

[27] x 5


[28] x 4


[29] x 3

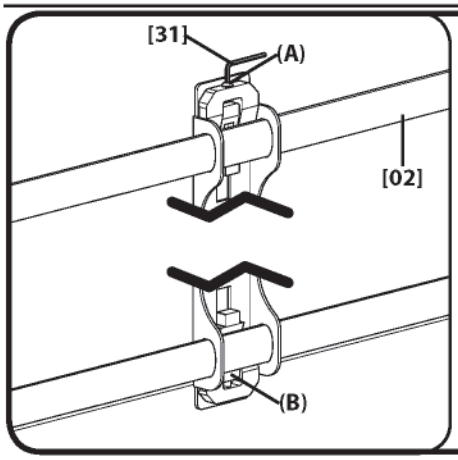

[30] x 4


4mm
5/32 インチ
[31] x 1


6.5mm
1/4 インチ
[32] x 1

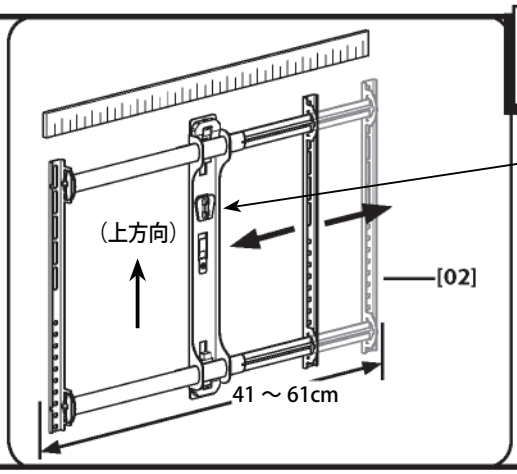
1．テレビにブラケットを取付ける準備作業

1－1　テレビの取付穴に合致するようにブラケットを調整する



D 図 -1

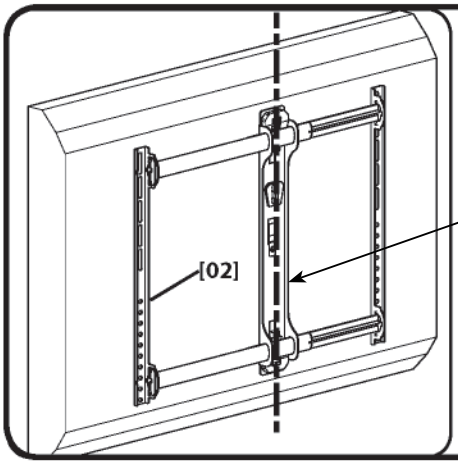
ブラケット [02] 金具の上側 [A] と下側 [B] の留め具（ファスナー）を緩めます。



D 図 -2

ブラケット [02] を左右に動かして、ご使用テレビの背面取付穴ピッチに合致するように調整します。

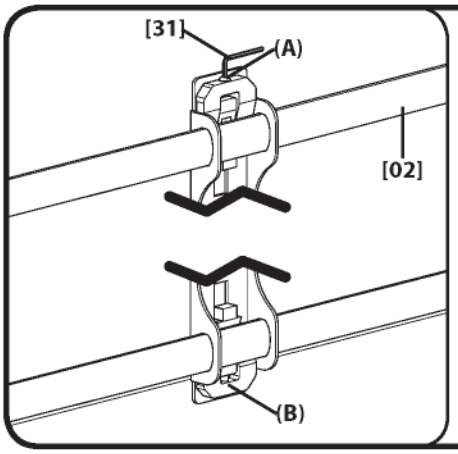
ブラケットの上下方向取付位置は図の通りの方向を合わせる



D 図 -3

中央の縦方向の金具は、左右ブラケットの丁度中央に配置するように調整してください。

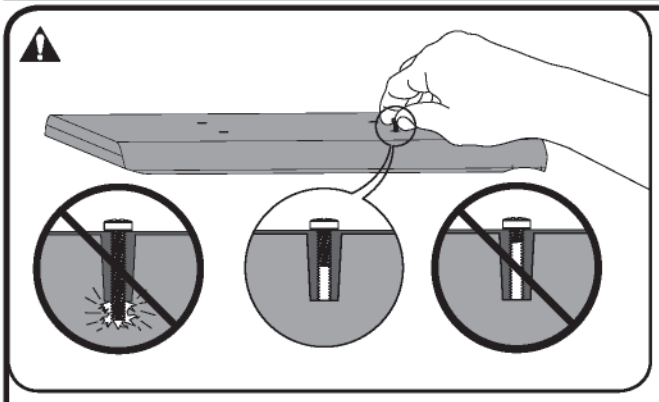
この金具は左右のブラケットの中央に合わせる



D 図 -4

上側 [A] と下側 [B] の留め具（ファスナー）を六角ネジ [31] でしっかりと締め付けて、中央の縦方向の金具を固定します。
但し過度な力で締め付けないで下さい。

1－2　テレビの取付に必要なネジの口径と、長さを選択する



E 図

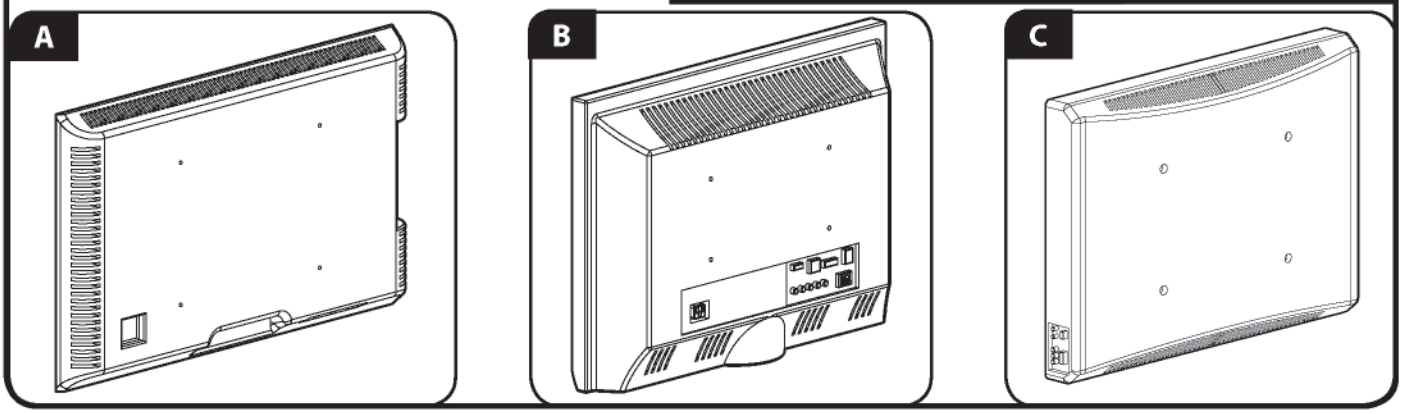
お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が決まります。
下記の A,B,C の図を参照して、 7 ページに記載の推奨される部品設定の中から、お使いのテレビのタイプに一致するものを選択してください。

Ａ . 4mm 又は 7mm スペーサーを使用する取付 (背面が平らなテレビ向け)
Ｂ . 14 mm のスペーサーを使用する取付 (背面が平らではないテレビ向け)
C.　24mm 又は 38mm のスペーサーを使用する取り付け（14mm のスペーサーよりも背後に更にスペースの必要な背面が平らでないテレビ向け）

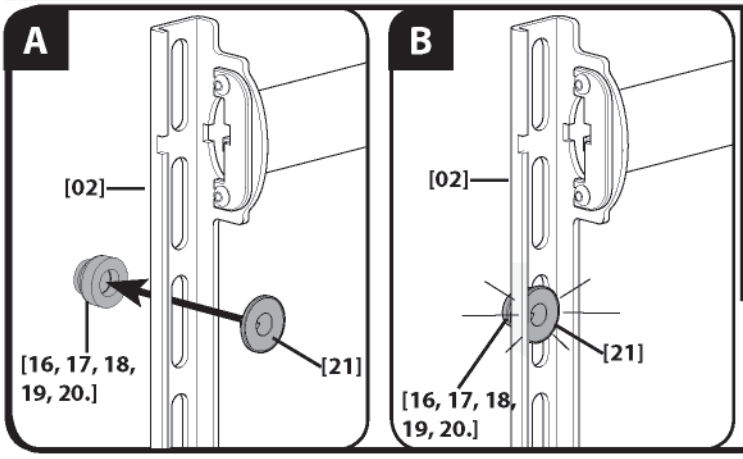
テレビの背面のネジ穴に手でねじ込んで、正しいネジの直径 (M4、M5、M6、又は M8) を判断します。

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

テレビをブラケットに固定するネジの長さが十分かどうかを確認します。
ねじ込んでいる時にもし抵抗があった場合、直ちにねじ込みを中止し、必要に応じて、最も短いネジとスペーサーを組み合わせて使用します。
使用するネジが長すぎる場合、テレビの内部を破損する恐れがあります。
適切なネジの見つからない場合は、ネットワークジャパン（株）に問い合わせて下さい。



1－3　ブラケットにスペーサーを取り付ける



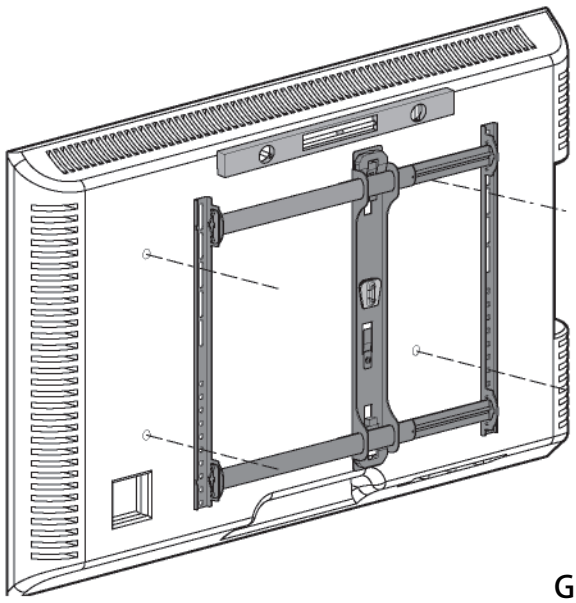
F 図

ショルダーワッシャー [21] とスペーサーをブラケット [02] に取り付けます。

1．ブラケット [02] の適切な開口部にショルダワッシャー [21] を通します。
2．手順 1-2 で選択したスペーサーにショルダーワッシャー [21] を取り付けます。

お使いのテレビの背面が平らな場合、4 mm または 7 mm のスペーサー [16] 又は [17] を使用します。
お使いのテレビの背面が湾曲していたり、障害物がある場合、またはケーブル、窪み、突起に対してスペースが必要な場合は、14 mm または 24 mm 又は 38mm のスペーサー [18]、[19] 又は [20] のいずれかを使用します。

1－4　背面が平らなテレビにブラケットを取り付ける



G 図

手順 1-2 での選択に応じて、部品類を選びます。

M4 x 20mm ボルト [04] 又は M5 x 20mm ボルト [07] を選択した場合、M4/M5 ワッシャー [23] 、及びスペーサー [16] を使用します。

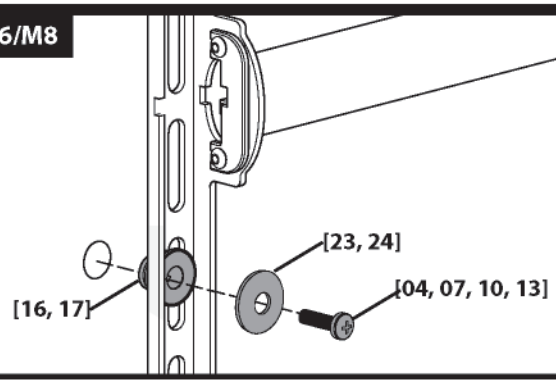
◎ M6 x 25mm ボルト [10] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [24] 、及びスペーサー [17] を使用します。

◎ M8 x 25mm ボルト [13] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [24] 、及びスペーサー [16] を使用します。

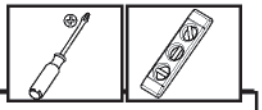
ブラケットがテレビの背面と水平になるようにしてください。

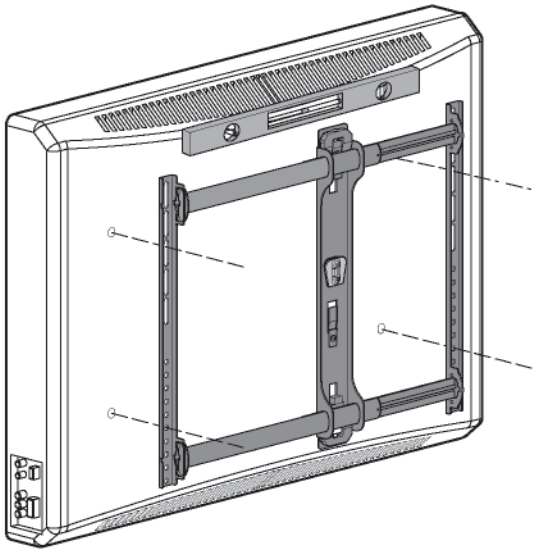
ケーブル、窪み、または突起に対して更にスペースが必要な場合は、 1 － 5 の設定のいずれかを選択してください。

M4/M5/M6/M8



1－5　背面が平らでないテレビにブラケットを取り付ける





H 図

手順 1-2 での選択に応じて、部品類を選びます。

◎ M4 x 30mm ボルト [05] 、又は M5 x 30mm ボルト [08] を選択した場合、M4/M5 ワッシャー [23] 、及びスペーサー [18] を使用します。

◎ M4 x 40mm ボルト [06] 、又は M5 x 40mm ボルト [9] を選択した場合、M4/M5 ワッシャー [23] 、及びスペーサー [19] を使用します。

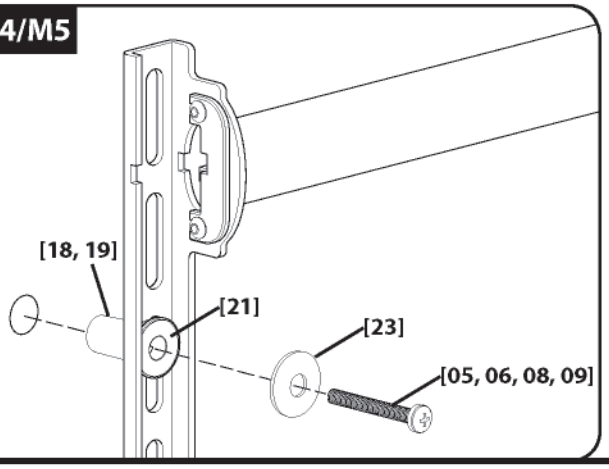
◎ M6 x 40mm ボルト [11] 、又は M8 x 45mm ボルト [14] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [24] 、及びスペーサー [19] を使用します。

◎ M6 x 55mm ボルト [12] 、又は M8 x 60mm ボルト [15] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [24] 、及びスペーサー [20] を使用します。

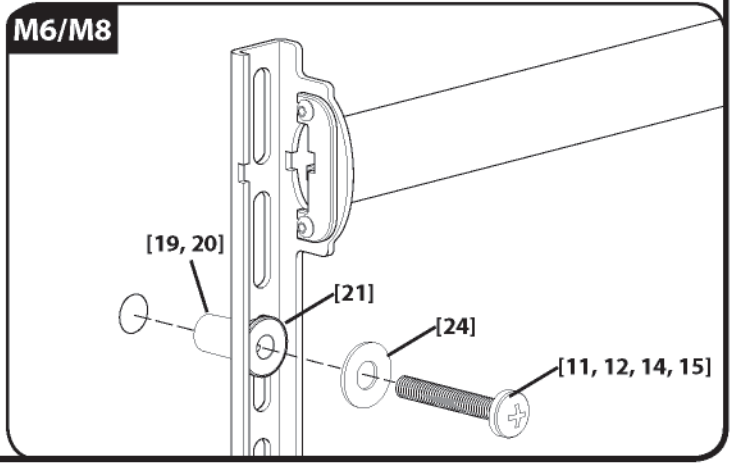
ブラケットがテレビの背面と水平になるようにしてください。

標準の使用部品設定は図の通りです。特別な用途の場合、又は部品の選択に関して確かではない場合、ネットワークジャパン（株）に連絡してください。

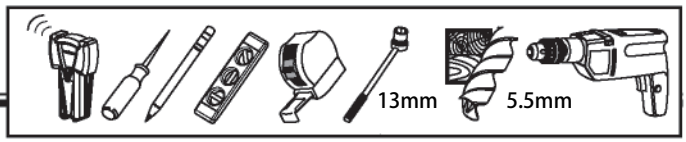
M4/M5



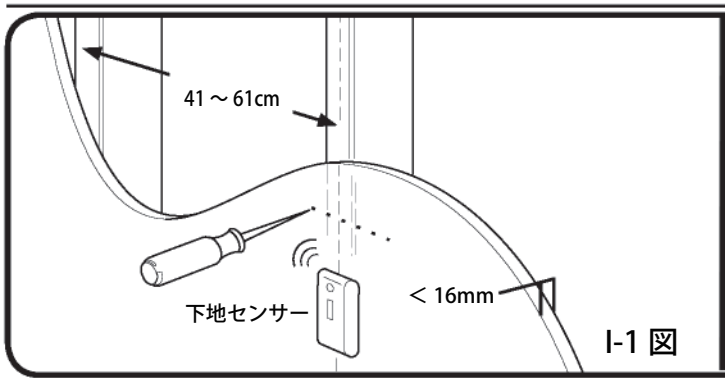
M6/M8



2．壁掛金具を取り付ける --- 木柱の場合



2－1　木柱の位置を探す



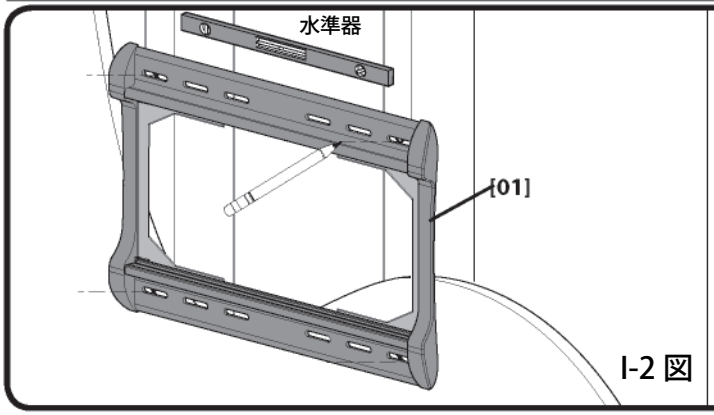
I-1 図

千枚通しや細い釘などを使うか、または下地センサーを使って、木柱の中央位置を確認します。

⚠ **注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

★壁面の表面を覆う材料は、16 mm を超えないようにします。
★最小の木柱の寸法：通常 51 x 102 mm　（小型 38 x 89 mm ）

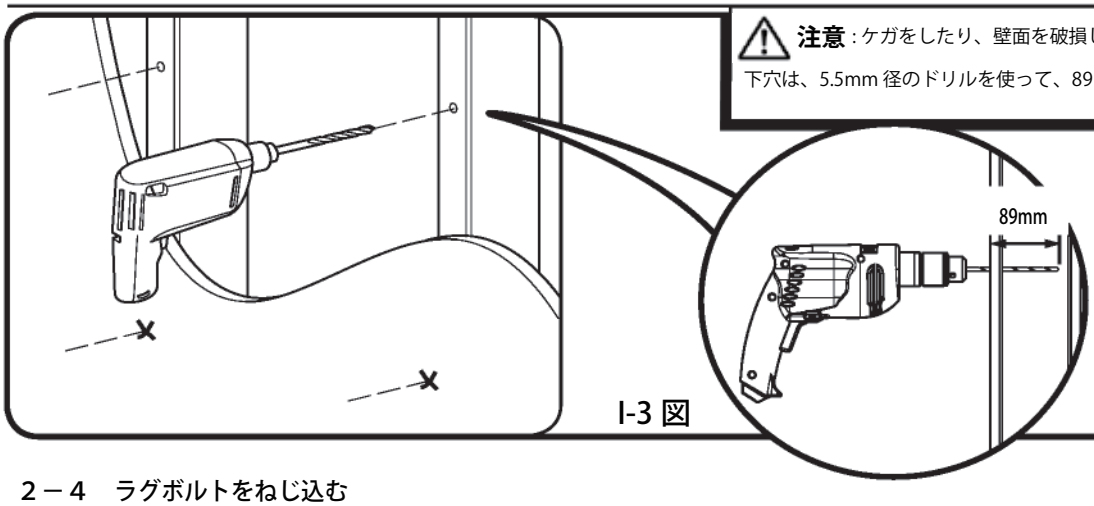
2－2　壁面に印を付ける



I-2 図

壁掛け金具 [01] を水平に置いて、木柱の中心に、取付穴位置に 4 個の印を付けます。

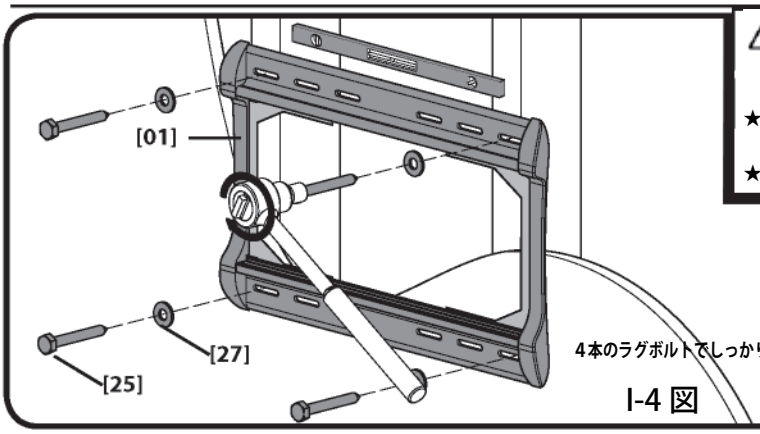
2－3　下穴を開ける



I-3 図

⚠ **注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
下穴は、5.5mm 径のドリルを使って、89 mm の深さの穴を 4 個開けます。

2－4　ラグボルトをねじ込む



4本のラグボルトでしっかりと取り付けること

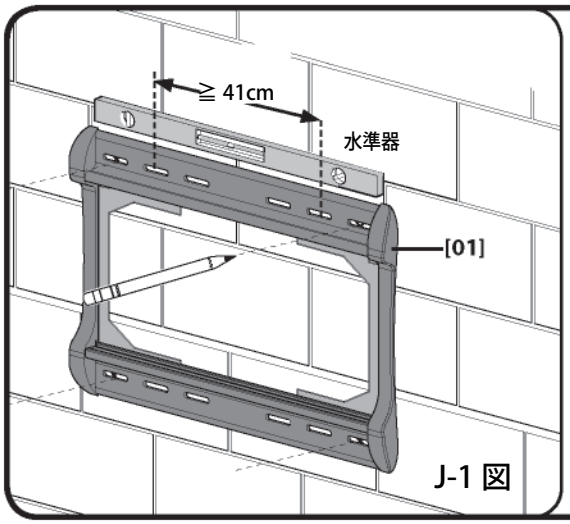
I-4 図

⚠ **注意**：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
不適切なラグボルトの取付は、保持力を弱め、薄型テレビをしっかりと支えることができません。

★ワッシャー [27] が壁掛け金具 [01] に引っ張り込まれる感じでしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [25] を締めます。
★ラグボルト [25] を締めすぎないようにします。

2．壁掛金具を取り付ける -------
コンクリート又はコンクリートブロックの場合

2－1　壁面に印を付ける



J-1 図

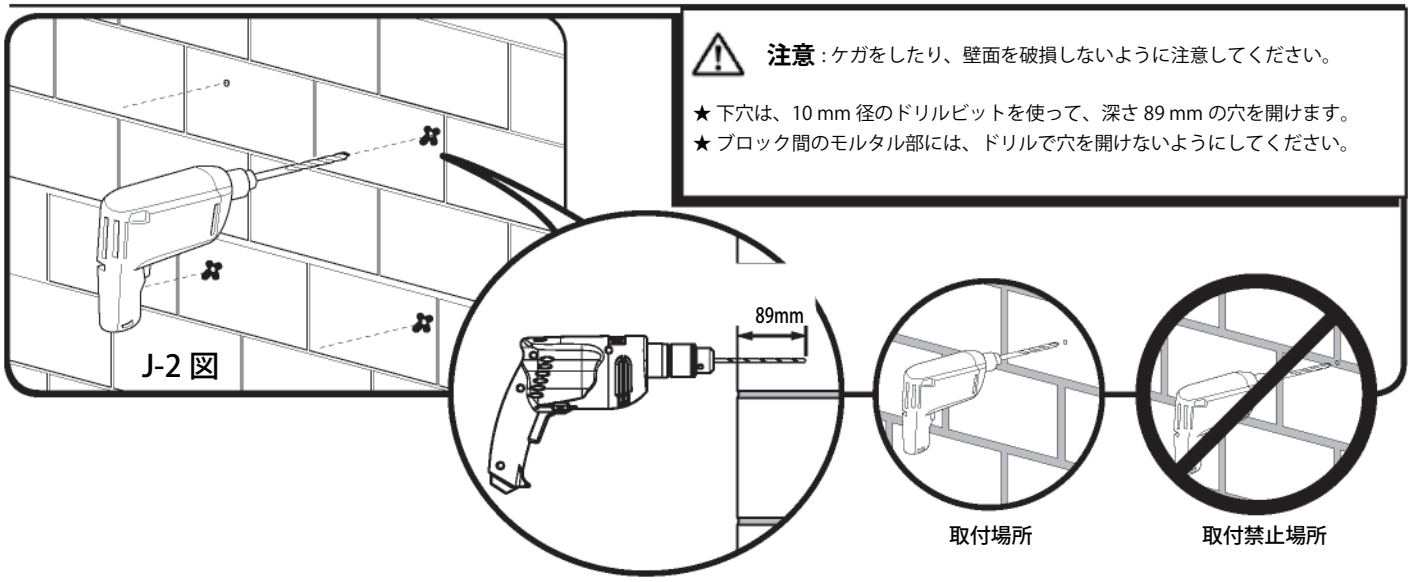
壁掛金具 [01] を水平に壁面に置いて、4 ヶ所の取付穴位置に印を付けます。

⚠ **注意** : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

★ 壁掛金具 [01] は、コンクリート壁面に直接取り付けます。
★ コンクリートの最小厚さ : 203mm
★ コンクリートブロックの最小サイズ : 203 x 203 x 406 mm

◎コンクリート壁面に取り付ける場合、壁面取付金具 [01] のアームは、中央にに固定する必要があります (9 ページ手順 3 参照)。
壁面取付金具 [01] の位置を決める際に、この点に留意して下さい。
◎壁面への最小留め位置の間隔は、J-1 図のように 41cm とします。

2－2　下穴を開ける

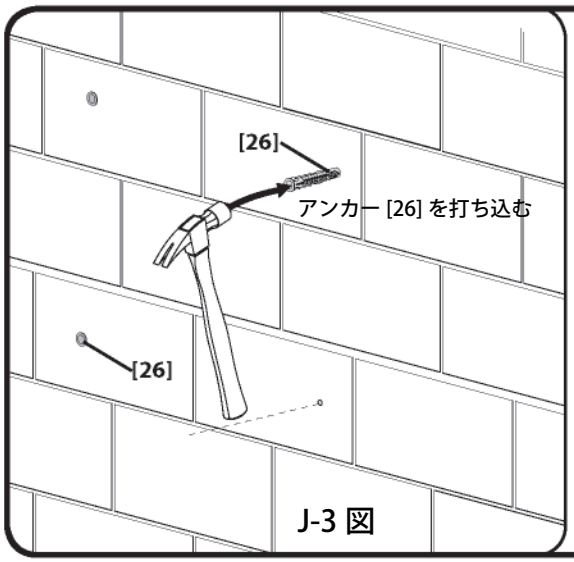


J-2 図

⚠ **注意** : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。

★ 下穴は、10 mm 径のドリルビットを使って、深さ 89 mm の穴を開けます。
★ ブロック間のモルタル部には、ドリルで穴を開けないようにしてください。

2－3　アンカーを挿入し、ラグボルトをねじ込み、壁掛け金具を固定する

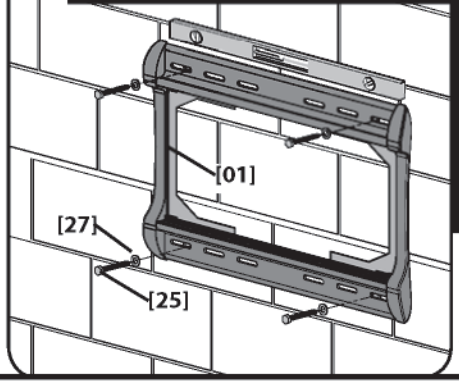


J-3 図

ラグボルトアンカー [26] を 4 個挿入します。次にラグボルト [25] にワッシャー [27] を挿入し、壁掛け金具 [01] の穴に通してから、アンカー [26] に 4 ヶ所ねじ込みます。

⚠ **注意** : ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
不適切なラグボルトの取付は、薄型テレビをしっかりと支えられません。
ケガをしたり、壁面を破損しないようにするには、次の点に注意します。

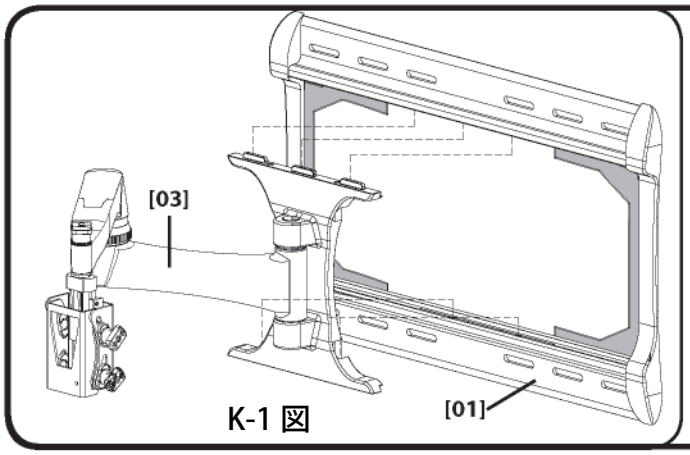
★ アンカー [26] がコンクリート壁面に揃って取り付いている事を確認します。
★ ワッシャー [27] が壁掛け金具 [01] に引っ張り込まれる感じでしっかりと取り付けられるまで、ラグボルト [25] を締めます。。
★ ラグボルト [25] を締めすぎないようにします。



4 本のラグボルトでしっかり留めること

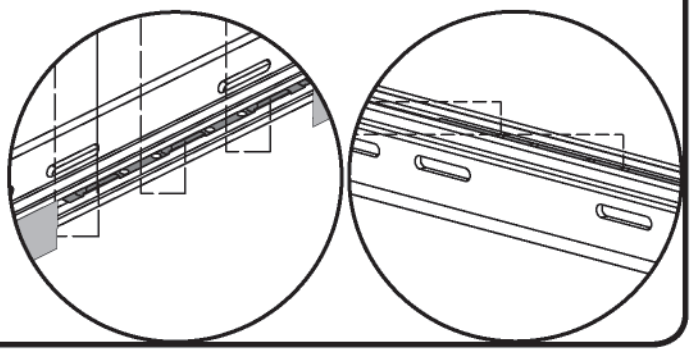
3　アームアセンブリーを壁掛け金具に取り付ける

3－1　穴位置を揃える

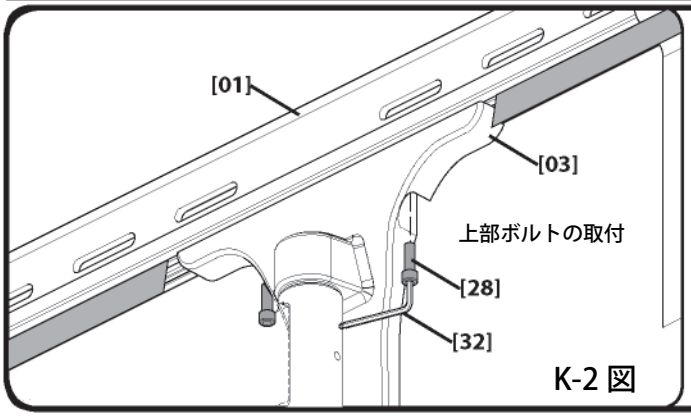


K-1 図

アームアセンブリー [03] を壁掛金具 [01] に取り付けます。
アームアセンブリーの上部にある突起を上部スライド状金具に設けた 3 カ所の溝に合致させ、又下部にある穴を、下部スライド状部分の穴に合わせます。

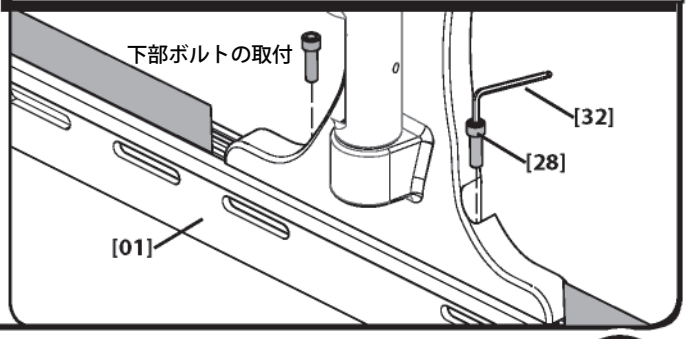


3－2　アームを固定する



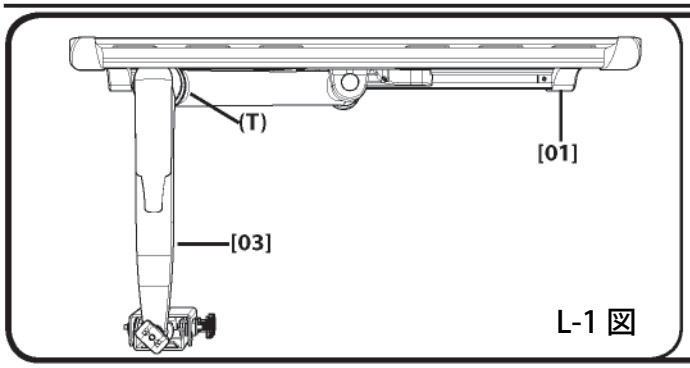
K-2 図

4 本のボルト [28] を使って、アーム [03] を壁掛金具 [01] に六角レンチ [32] で締め付けて固定します。



4　薄型テレビをアームアセンブリーに取り付ける

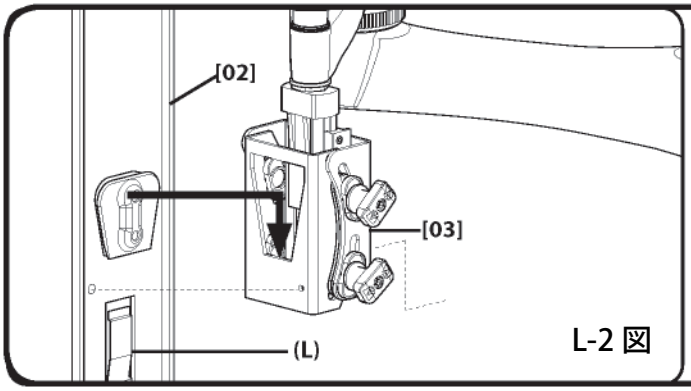
4－1　アームの位置設定



L-1 図

アームアセンブリーのアームが、図の様に、壁面方向に押しつけるような位置に配置します。モニターブラケット取付時にアームが動く事の防止の為に、テンション調整 [T] を締め付けて、アームの動きを固定します。

4－2　テレビをアームに取り付ける



L-2 図

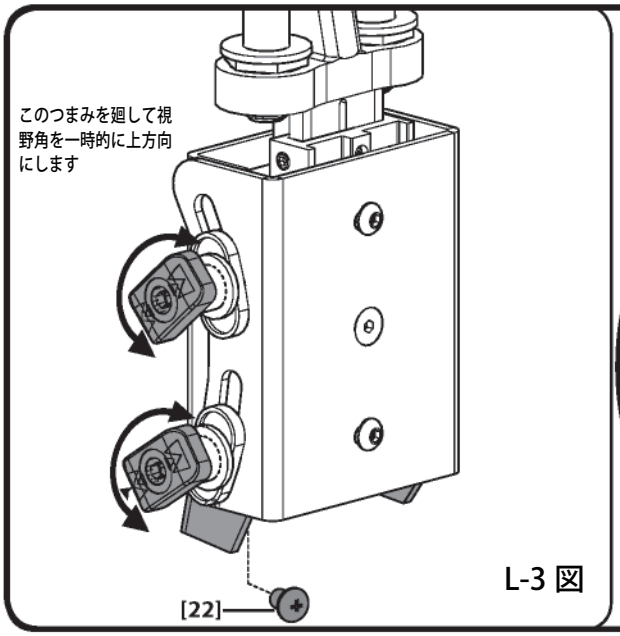
注意：この項の取り付け作業は、重量があるので必ず大人二人で行って下さい。

テレビブラケット [02] の接合部を、アームアセンブリー [03] の先端の接合部に、L-2 図のように取り付けます。

各部品が所定の位置に正しく取り付くと、「カチッ」という音がします。

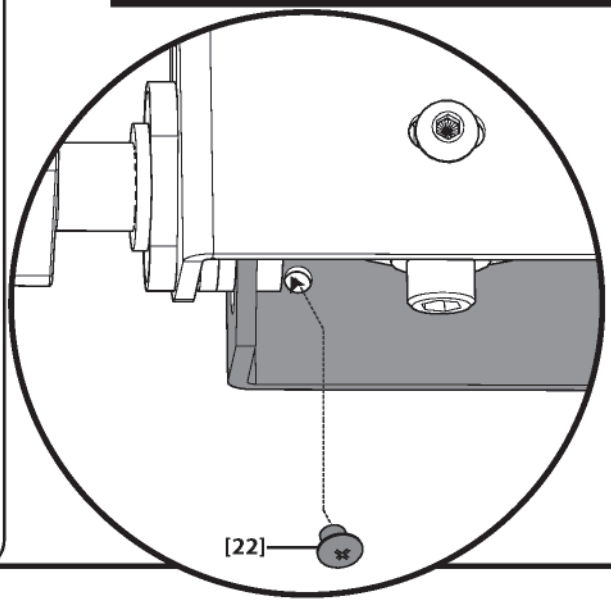
参考事項：(L) は 14 ページ記載のテレビの取り外し用ロック解除用のタブです。この手順 4-2 では使用しません。

4－3　アームを固定する



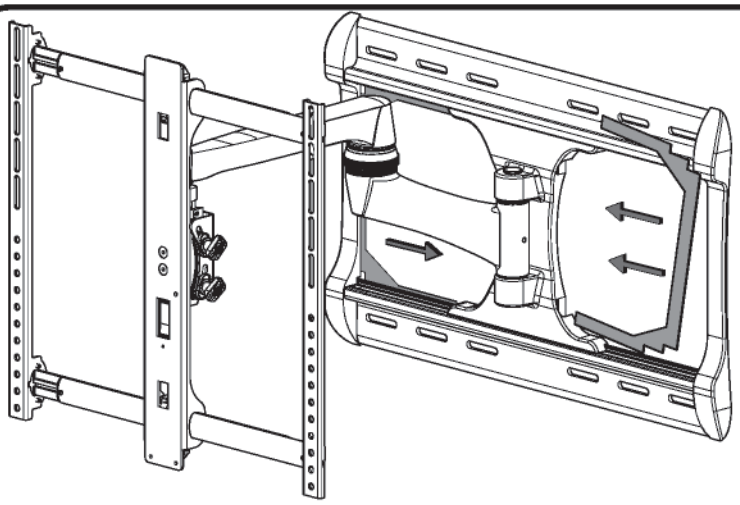
L-3 図

テレビを上方向に傾けます。ロック用の固定ネジ [22] をねじ込みます。



5　アームアセンブリーの各部調整

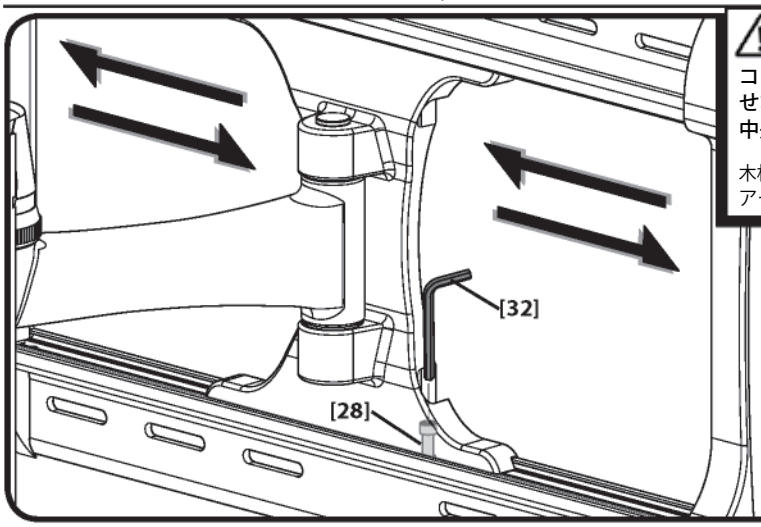
5－1　壁掛金具の留め具を取り外す



壁掛金具 [01] から矢印の方向に
留め具を取り外して下さい

M-1 図

5－2　アーム取り付け位置の調整　(木柱への取り付け時のみ有効)



注意 : ケガや壁面の破損に注意してください。

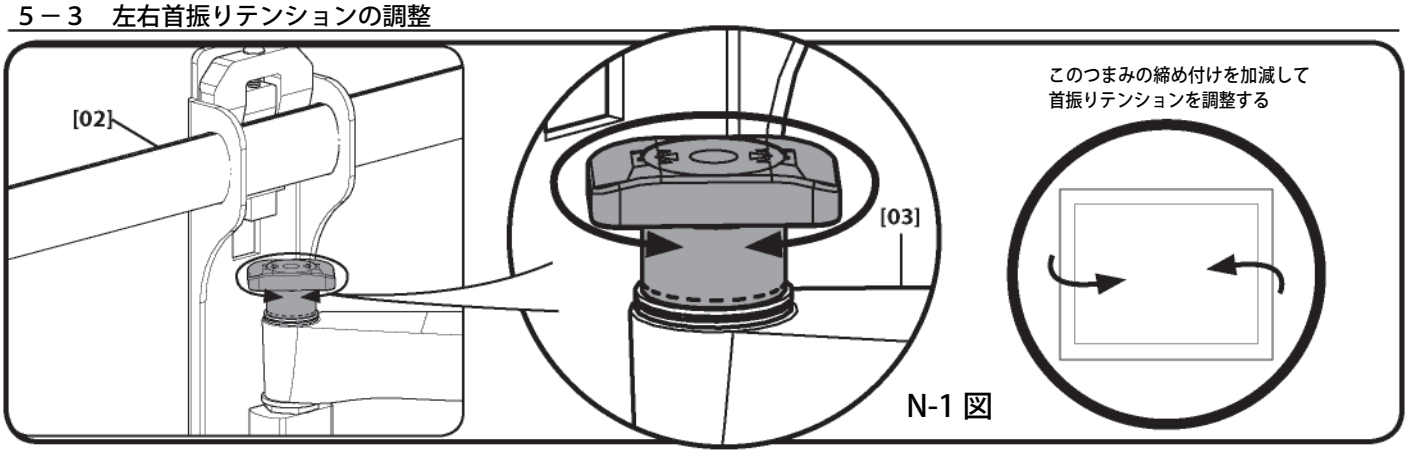
コンクリート壁面に取り付ける場合、アームの位置は中央から移動させないでください。コンクリート壁面への取り付けの場合、アームは中央位置を保持する必要があります。

木柱へ取り付けの場合、ボルト [28] を取り外すのではなく、一旦緩めてください。
アームを希望する方向にスライドさせてから、ボルト [28] を締め付けます。

注意：ネジ [28] は緩めるだけで、絶対取り外さないこと

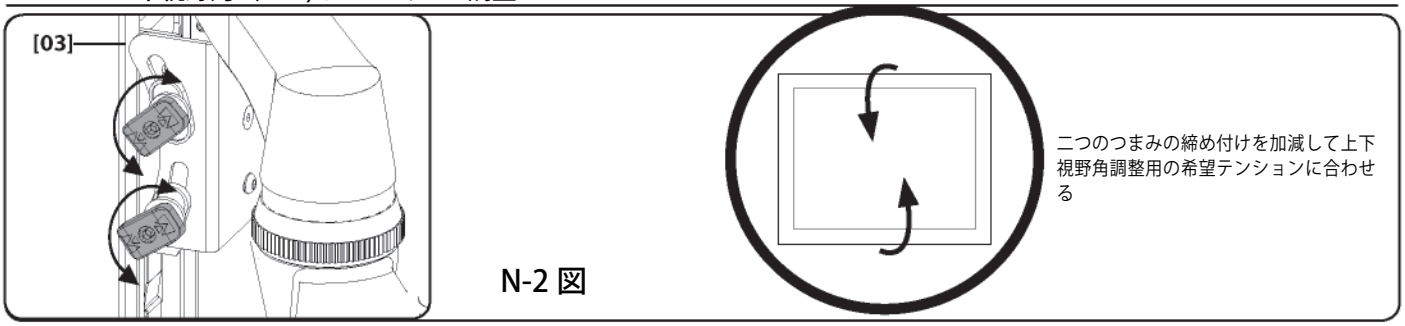
M-2 図

5－3　左右首振りテンションの調整



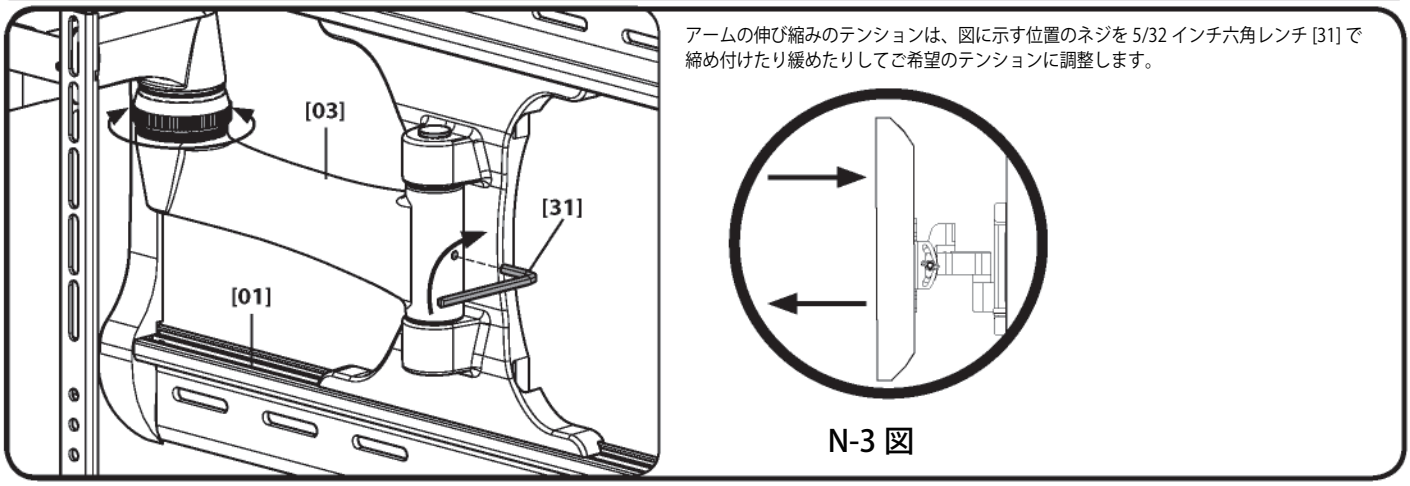
N-1 図

5－4　上下視野角（TILT) テンションの調整



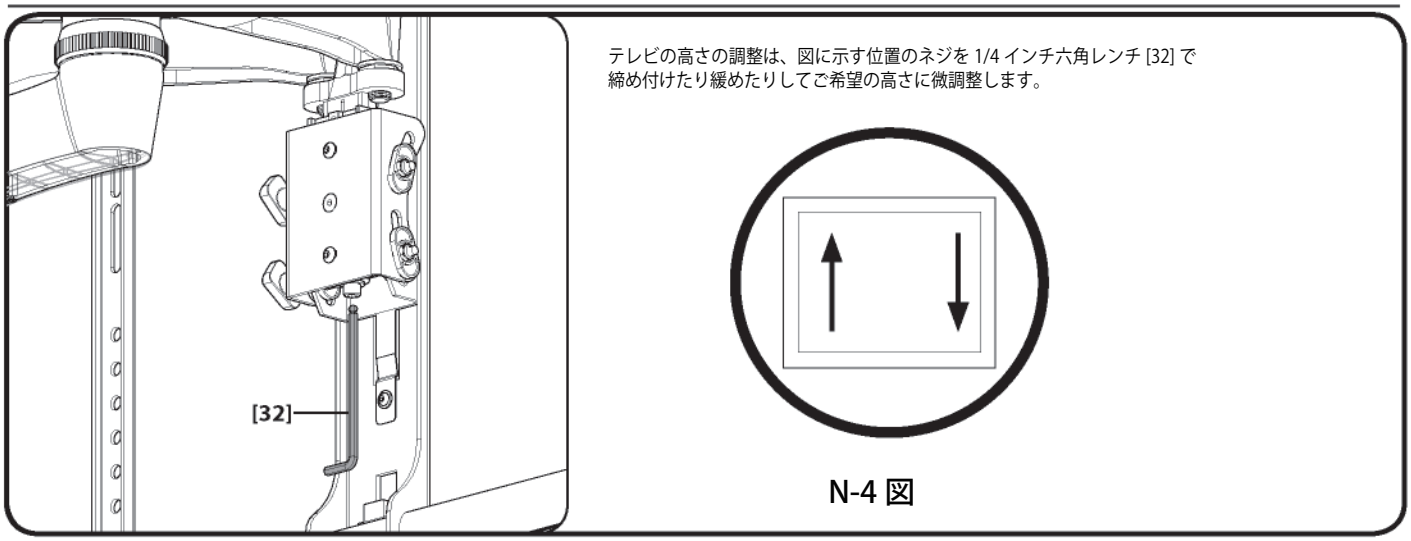
N-2 図

5－5　アームの伸び縮みテンションの調整



N-3 図

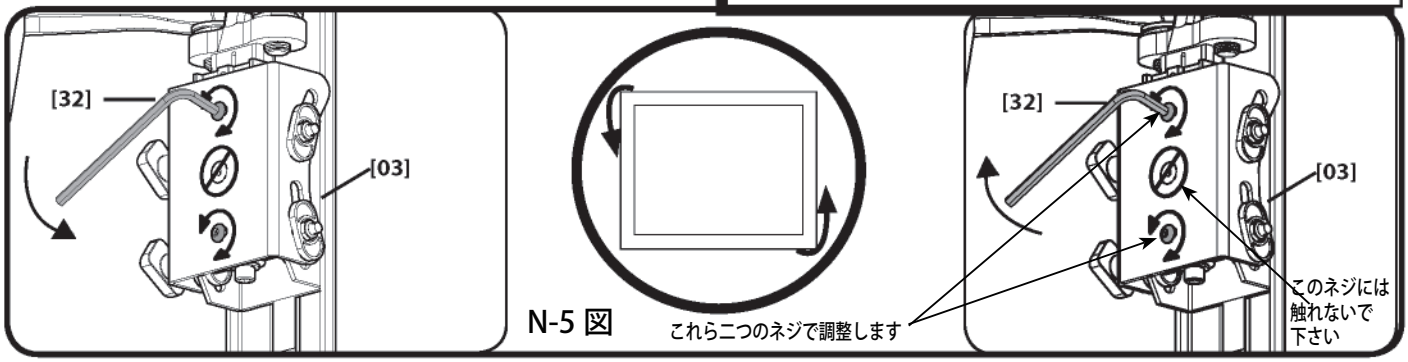
5－6　高さの調整



N-4 図

5－7　水平度の調整

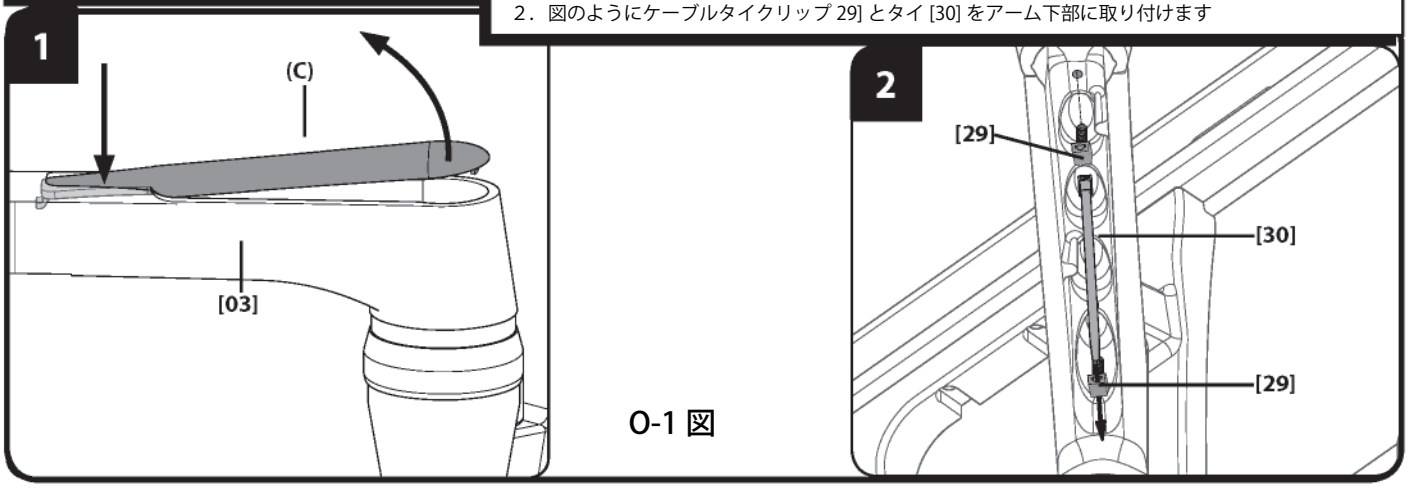
テレビの水平度は、図のように六角レンチ [32] で一旦ネジを緩めて水平度を調整し、完了後元通りにネジを締め付けます。



N-5 図

6　ケーブル類の整理

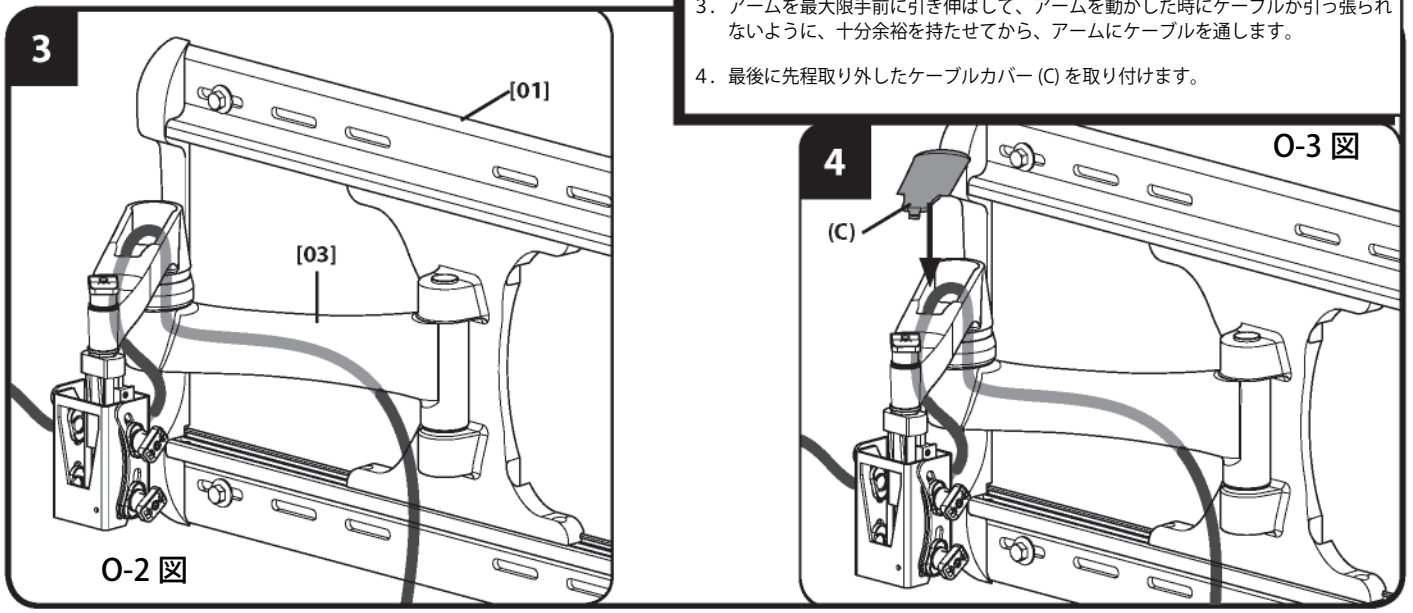
1．アーム [03] を完全に伸ばします。ケーブルカバー (C) の前部を押してカバーを取り外します。
2．図のようにケーブルタイクリップ 29] とタイ [30] をアーム下部に取り付けます



O-1 図

3．アームを最大限手前に引き伸ばして、アームを動かした時にケーブルが引っ張られないように、十分余裕を持たせてから、アームにケーブルを通します。

4．最後に先程取り外したケーブルカバー (C) を取り付けます。



O-2 図

O-3 図

必要があれば、ケーブルタイ [30] を使って、ケーブル類を整理して下さい

ケーブルカバー（C) を取り付けます

7　トラブルシューティングとメンテナンス

7－1　テレビの取り外し方

10 ページの手順４の図を参照して下さい。

1. ロックネジ [22] を取り外します。
2. 10 ページに表示したロックタブ (L) をしばらく押してロックを解除します。
3. テレビを注意深くアーム [03] から持ち上げて、取り外します。
   この作業は重量物を取り扱うので、大人二人でテレビを取り外して下さい。

7－2　トラブルシューティング

★　テレビが下向きの視野角を保つことはできず、上向きに浮いた状態になります :

1. 視野角（TILT) の張力を再調節します (手順 5-4 を参照)。
2. 問題が解決しない場合は、より長いスペーサーを使用するブラケットの取り付け方法を利用してください。(手順 1-4 を参照)。

★テレビがホーム位置を保つことはできず、下向きに浮いた状態になります :

1. 視野角（TILT) の張力を再調節します (手順 5-4 を参照)。
2. 問題が解決しない場合は、より短いスペーサーを使用するブラケット取り付け方法を利用してください (手順 1-4 を参照)。

Memo

SANUS™
VISIONMOUNT

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒557-0045　大阪市西成区玉出西2丁目16-3
ネットワークジャパン株式会社　TEL 06-6105-0707 / FAX 06-6105-0708
http://www.network-jpn.com/　　E-mail : info@network-jpn.com